

3分でわかる！

NLPセラピスト 養成コース

- ① 概要
- ② こんな方へ
- ③ 解決できる困りごと
- ④ セミナーに込めた思い
- ⑤ セミナーの目標
- ⑥ できるようになること
- ⑦ セミナーで身につけること①
- ⑧ セミナーで身につけること②

① 概要

- ◎ NLPプラクティショナーコース修了後を前提としたセミナー
- ◎ 他者にNLPを使うときに必須のポイントを学びます
- ◎ プロレベルとして必要なコミュニケーション技術を身につけるための内容
- ◎ 相談からセラピー技法までの援助の流れを中心にトレーニング

- × 新しいNLPのテクニックを紹介するものではありません
- × コミュニケーションの技を個別に練習するセミナーではありません
- × マーケティングや集客は扱いません
- × 講座中でのセラピー体験を狙った内容ではありません

②こんな方へ



「苦しんでいる人の助けになりたい」



「NLPを使えたら何とかしてあげられるかも...」



「せっかく学んだNLPを誰かのために使いたい」



「自分もNLPで人の役に立てたら...」



「心の学びを活かした仕事をしたい」

③ 解決できる困りごと

- ✓ NLPを使う相手がいない
- ✓ 無理やり手助けしようとして嫌がられる
- ✓ 相手の心を傷つけない
- ✓ 「とりあえず」や「行き当たりばったり」の進め方
- ✓ クライアントに解決策を求められると困る
- ✓ 質問しても「分かりません…」と言われてしまう
- ✓ 同じ不満が繰り返されて話が進まない
- ✓ 質問しているうちに話が逸れてしまう
- ✓ ただ聞いているだけで時間が経ってしまう
- ✓ どのテクニックを使えばいいか分からない
- ✓ 相手が自分から変わろうとしてくれない
- ✓ 継続セッションを提案するのが苦手



④ セミナーに込めた思い

『優しい』
と
『優しくできる』
は別物

『優しくできる』
にはコミュニケーション技術が必要



優しい人が、
誰かにNLPを用いて、
優しくできるよう…！

⑤ セミナーの目標

変わりたいと思っている人にNLPを使って“心の癖”を変える手伝いがスムーズにできるようになる

- ✓ NLPを知らない人にも対応できる
 - ✓ 「最初の問い合わせ～援助当日の見送り」までの流れを型として学ぶ
 - ✓ NLPセラピストとしてのメインの作業2つを着実に進められる
 - ① カウンセリング
 - ② NLPのテクニックのガイド
- 必須のポイントを押さえながら相談を進め、NLPで修正する“心の癖”を絞り込める
- クライアントの心の中をNLP視点で捉えて、必要な変化のために用いるNLPのテクニックを適切に選択できる
- クライアントの特性に合わせて、テクニックの手順を安全かつ効果的に進められる
- ✓ どのようなクライアント、どんな問題／目標であっても、援助可能なところを見極めて、自信をもって対応できる
 - ✓ 効果的な振り返りの方法を身につけて、自分の課題を技術面・心理面で振り返ることができる

⑥ できるようになること

◆ NLPを用いた他者援助

= 相手が「できなくて困っている」ことを「できる」ようにするために、NLPのテクニックをガイドする

◆ 援助できる範囲

- ・用途…悩み/問題の解決 ～ 目標/夢の達成
- ・分野…何でも対応可能
(人間関係、習慣、仕事、趣味、スポーツ、厄介な思考/感情、衝動、健康、生き甲etc.)
- ・解決方針…心理面からのアプローチ
(“心の癖” (=プログラム) を変える)

= 上手くいってない現状の原因となる「できないこと」を特定して、そこに含まれる“心の癖”をNLPのテクニックで修正する

◆ 上達するスキル

- ・主なプロセス
 - ①話を聞きながら扱う“心の癖”を絞り込む (相談)
 - ②“心の癖”を変えらるためのNLPテクニックのガイド (ワーク)
- ・スキルを想定する場面

問い合わせ ～ 初対面 ～ 相談 ～ NLPのテクニックの実践 ～

⑦ セミナーで身につけること①

『NLPを使った他者援助』に求められる知識

◆ NLPセラピストとしての**基本方針**の理解

「相談～NLPでの援助」までの セッションにおいて

- **どのような流れで進めていくか？**
(押さえるべきステップ)
- **何を着実に押さえる必要があるか？**
(必須の手続き)
- **何をするとスムーズになるか？**
(トラブル回避&対応)
- **何に注意すべきか？**
(安全性への配慮)
- **何をサポートすべきか？**
(効果を高める)

…「やること」/「やらないこと」の『基準』

⑧ セミナーで身につけること②

『NLPを使った他者援助』に求められる技能

◆NLPセラピストに求められるコミュニケーションの技術

(a) 初対面であっても心と関われる 人間関係スキル

- ・相手の心境に合わせた**寄り添いの言葉**がけ
- ・少しでも早く苦しみを減らす**“ねぎらい”**
- ・変化へ踏み出せるようにする**“力づけ”**
- ・問題の中核を安全に聞き出す**傾聴力 & 質問力**
- ・非言語から相手の特性を把握する**観察力**
- ・不安、戸惑い、抵抗などを見逃さない**観察力**

(b) NLPのことを知らない人でもスムーズにNLP を実践してもらえる**支援スキル**

- ・援助の流れやNLPの原理を受け入れてもらう
説明スキル
- ・専門家として方向性をコントロールする
ガイドスキル
- ・共同作業としての会話から問題を絞り込む
質問スキル
- ・相手の特性と問題に適したNLPのテクニックを
選択する**見立てスキル**
- ・不安、戸惑い、抵抗に対処する**言語スキル**
- ・相手の内省を深める**間接的サポートスキル**

(c) 問題となっている“心の癖”を特定する カウンセリングスキル

- ・ 問題場面における心の動きを想像する
共感的理解
- ・ 相談内容と結びついた“心の癖”を列挙できる
NLP的着眼点
- ・ 取り扱う“心の癖”を本人に選んでもらうための
言語的提示
- ・ “心の癖”を変えることの意味と影響を伝える
危機管理のポイント
- ・ 用いるNLPのテクニックについて納得してもらうための
説明内容
- ・ NLPのテクニックに進む前の**意思確認**と
同意形成

(d) NLPのテクニックをガイドするときの 専門援助スキル

- ・ テクニックの手順を適切にやってもらうための
伝達・観察・確認のスキル
- ・ 不慣れな内省やイメージ化をスムーズにする
支援的な言語技術
- ・ 仮想体験への臨場感を高めるための**言葉かけ**と
質問法
- ・ 強い感情反応に対して安定かつ共感的に対応する
マインドセット
- ・ 内省と自主性を妨げない**非支持的ガイドの言語**
パターン
- ・ NLPセラピストとしての**心理的距離感**と**知覚位**
置のコントロール

◆ HPに戻るのはこちら

◆ お申込みはこちら